

H24.3.3

技量、人柄そして相性



長尾和宏 (ながお・かずひろ) 東京医大卒業後、大阪大第二内科入局。平成7年、尼崎市で「長尾クリニック」を開業。外来診療から在宅医療まで、人を診る、総合診療を目指す。医学博士。労働衛生コンサルタント。53歳。ブログ (<http://www.nagaoclinic.or.jp/doctorblog/nagao/>) が好評。



「医者選び」シリーズ①

今回からは「医者選び」について書きます。世の中には、診療所や病院がごまんとあります。しかし、いざ急病になったとき、どこにかかれはいいのか? さっぱり分からず、救急車を呼ぶ方がいます。そして着いた先が希望しない病院だった…。そのような苦い経験をされた方はおられますか?

食事選びやワイン選びには熱心でも、医者選びには無頓着な人が多いような気がしませんか? 今回からは「医者選び」について書きます。世の中には、診療所や病院がごまんとあります。しかし、いざ急病になったとき、どこにかかれはいいのか? さっぱり分からず、救急車を呼ぶ方がいます。そして着いた先が希望しない病院だった…。そのような苦い経験をされた方はおられますか?

「風邪受診」が貴重なチャンス

「自分に合うかかりつけ医」を見つけることができるのでしょうか? 今回はこのことについて考えてみましょう。実は風邪にヒントがあります。今の時期、高熱が出る人が多くいます。インフルエンザかもしれません。風邪で医療機関の敷居をまたぐその時こそが、実は「かかりつけ医」選びのための貴重なチャンスなのです。

診察室に入る前、いくつかチェックしてみましよう。受付の態度はどうなのか。待合室の清潔度はどうなのか。待ち時間短縮のために何か工夫をしているのか。それだけでも、患者さん本位かどうかを見分けることができます。隣で待っている患者さんから話を聞くもいいでしょう。待ち時間こそが、医者選びのための貴重な情報収集タイムなのです。

そして、いざ診察室へ。患者の話をどれだけ聞いてくれるか。聴診器をちゃんと当ててくれるか。診たてや治療方針を分かりやすく説明してく

ち時間短縮のために何か工夫をしているのか。それだけでも、患者さん本位かどうかを見分けることができます。隣で待っている患者さんから話を聞くもいいでしょう。待ち時間こそが、医者選びのための貴重な情報収集タイムなのです。

フルには、4つの治療薬があります。タミフルという飲み薬、リレンザやイナビルという吸入薬、ラピアクタという点滴です。これらの薬の長所や欠点をちゃんと説明して、患者さんの意向も聞いたうえで最良の選択肢を提示してくれるかどうか。たったこれだけの行為ですが、いくつかの普遍的な要素を含みます。

たとえばインフルを「がまん」に例えてみましょう。タミフルを「手術」に、リレンザを「放射線治療」に、ラピアクタを「抗がん剤」に置き換えて考えてみれば明らかでしょう。相手(患者さん)の立場にたって分かりやすく説明してくれる医者こそ「良医」なのです。テレビに出て来る「名医」は現実にはあまりいません。「迷医」ならい

「自分に合うかかりつけ医」を見つけることができるのでしょうか? 今回はこのことについて考えてみましょう。実は風邪にヒントがあります。今の時期、高熱が出る人が多くいます。インフルエンザかもしれません。風邪で医療機関の敷居をまたぐその時こそが、実は「かかりつけ医」選びのための貴重なチャンスなのです。

実際にインフルだった場合、医者選びのための格好の实地テストになります。インフルには、4つの治療薬があります。タミフルという飲み薬、リレンザやイナビルという吸入薬、ラピアクタという点滴です。これらの薬の長所や欠点をちゃんと説明して、患者さんの意向も聞いたうえで最良の選択肢を提示してくれるかどうか。たったこれだけの行為ですが、いくつかの普遍的な要素を含みます。

がんや難病にかかってからあわてないためにも、風邪のときこそがいろいろな医者にかかれるチャンスです。日本の医療の最大の自慢は国民皆保険制度。昨年は、皆保険ができてからちょうど50年でした。この制度のおかげで日本は世界一の長寿国を達成。その皆保険制度の最大のウリは「フリーアクセス」。保険証1枚で、全国のどんな名医にも診てもらえる、世界がうらやむ「画期的な医療制度」です。空気と同じであります。ありがたみを感じている市民は少ないかもしれません。

ひようつい